

医療法人幕内会 山王台病院・介護老人保健施設 あいあい

山王台

Sannodai

3


2005.04 April

特集

山王台病院ドクター座談会

理事長兼院長／幕内幹男 外科部長／増田栄司
内科部長／中村明浩 消化器外科医／上道 治



 医食同源／凍み蒟蒻（管理栄養士 本田久美子）

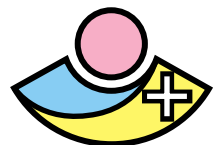
医科だより／手術室（看護師 岩崎和泉）

高度先進医療最前線／血液・生理機能検査室（検査室主任・臨床検査技師 小林真由美）

スタッフの横顔／乳腺疾患との出会いとその後

（山王台病院乳腺科 兼務 横浜旭中央総合病院乳腺外科部長 櫻井 修）

山王台インフォメーション



SUNNOUDAI
HOSPITAL



凍み蒟蒻 しく

こんにゃく



スローフードという言葉を皆さん ご存知でしょうか？

スローフードとは現代のファーストフードに代表される大量生産の画一的な味に對抗したもので、消えつつある各地の郷土料理や質の高い小生産の食品を守っていくという活動です。

凍みこんにゃくはまさにスローフードを代表する食材のひとつです。

冬の農閑期を利用して、田畑にわらを敷きつめこの上に薄く切ったこんにゃくを並べ、自然の中で冷凍・乾燥を水を掛けながら約二〇日間繰り返し作り続けます。現在、農家の高齢化により全国でも茨城の一軒のみしか作られていない幻の食品です。

通常のこんにゃくは九七％が水分で、固形分は難消化性の食

物繊維(一〇〇g中二・二g)、カルシウム(一〇〇g中四三mg)等から出来ています。凍みこんにゃくはその大部分を占める水分を乾燥させているため、湿気を避けると五〇年以上も保存できるという超優れた保存食品といえるでしょう。

また、ノンカロリーのためダイエット食品としてもおなじみですが、グルコマンナンという食品繊維が腸の働きを活発化し腸内の老廃物を吸収して排泄を促すため、便秘の予防や大腸がんの予防、生活習慣病予防にもつながります。

食べ方としては、水で戻して下茹でし、味をたっぷり含ませるよう調理します。普通のこんにゃく同様に煮物やきんぴらなどにするか、ドレッシングと

あえてサラダ風にしたり、ピザの生地の変わりにしてピザ風にしたリ……調理方法は工夫次第で様々。是非、ご家庭の食事に取り入れてみてはいかがでしょうか？



シミコンピザ



シミコンサラダ



あいあい管理栄養士

本田久美子

表紙題字 / 陶芸家 寺本守氏



特
集

山王台病院ドクター座談会

理事長兼院長	幕内	幹男
外科部長	増田	栄司
内科部長	中村	明浩
消化器外科医	上道	治

時代が求める地域医療の理想を追求し、
前進と改革を続けていこうとしている山王台病院。
それぞれの専門科目の医療技術の研磨に情熱をもって取り組んでいる
若い常勤医師と院長による座談会が行なわれ、
リラックスした中にも活発な意見が行き交いました。

特集

山王台病院ドクター座談会

医療の最前線にいる臨床医として理想とする病院の在り方を模索する。

各科に垣根を設けてしまつ大病院の医局制度には弊害がある

幕内「企業も病院も規模とかシステムもいろいろだと思つてますよ。私は大病院という大きな組織にいて、必ずしもそれがいいとは思わなかつた。それで、自分が理想とする病院を作ろうと思つたわけだけど、皆さんが理想とする病院とはどんなものですか」



理事長兼院長
幕内 幹男

経歴
昭和57年度昭和大学卒業 昭和大学藤が丘病院研修医 横浜旭中央総合病院勤務 昭和大学外科講師 山王台病院院長 医療法人幕内会理事長
認定医・専門医
日本外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会認定専門医 臨床研修指導医 日本臨床外科学会評議員 日本消化器内視鏡学会専門医
研究テーマ
頸部・食道・胃癌の手術・化学療法による治療 内視鏡による食道・胃・大腸腫瘍の治療 膵移植 肛門疾患に対する治療 外科代謝栄養学・糖尿病 逆流性食道炎に対する腹腔鏡の手術療法

中村「私がかつていた大病院は、内科や外科といった各科に隔たりがあり、気軽に症例の相談などができる雰囲気ではありませんでした。各科のコミュニケーションがスムーズにできるといのは理想ですね」

幕内「それは医局制度の弊害だよな。内科も第一内科、第二内科というようにさらに細分化されていたりするでしょ。患者様にとっては全人的な問題だから外科も内科もないわ

けですか」

増田「専門性の高い医者が出て、なおかつ各科同士のコミュニケーションが取りやすいのがやはり不可欠です。それができないというのは非常にストレスが溜まるものですよね」

幕内「専門性が高く、技術力のある医者が出て、なおかつ横のつながりももてる病院ということですよ。しかし、専門性にだけ走るとどうでしょう。たとえば癌の手術を待つ患者さんがインフルエンザになる場合だってある。もちろん、それを放っておくわけはないでしょうが、そんな意味ではある程度全人的に診れる医者が育てられる規模というのも大事だと思っんです」

上道「現代は医者もスペシャリティが求められる時代だと思います。でも、それをあらゆる場面で発揮できなければ意味がありません。そんな意味で山王台病院は五〇〇六〇床ぐらいで規模は比較的小さいですが、地域医療を追求するという目的では、医師同士の連携も良くできるし、フットワークの良い医療が現場でできていると思っっているんです」

優しい医者というのは褒め言葉ではない。医療の目的を達成するために優しさも必要なのだ。

今、必要な医療をすぐに提供できる対応力を

幕内「臨床医として医療を提供する病院と研究機関としての病院とは違うと思う。山王台病院にとって大事なものは、良い医療を患者様に提供することなんです。しかも、病院というのは医者だけではなく、看護師や理学療法士などの融合によって成り立つわけだから、そのバランスも重要なわけですよ。もし、自分で病院を開くとしたらどんな点に留意したいと思っますか」

中村「私は茨城の出身なのでわかるのですが、会社勤めより自営業的な人が多く、自分で健康管理をしなければならぬ状況が多く見られます。たとえば胃カメラひとつ予約するにも何カ月待ちとかの状況がある。地域に即した病院にするとしたら山王台のように外来診療で素早く検査ができるというようなシステムを取り入れたいですね」

増田「やはり患者さんの立場で良い病院というのがいい病院で、よく話を聞いてくれるから良い病院だと言われることもある。でもじっくりと話を聞いているうちに容態が悪くなったのではどうしようもな

増田 栄司 先生

経歴
平成3年度昭和大学卒業
昭和大学藤ヶ丘病院勤務
旭中央病院勤務
昭和病院勤務
山王台病院勤務



専門科目
消化器一般外科、胃・大腸・肝臓・膵臓・胆道・胆のう・肛門病・乳腺に対する治療、特に肝臓癌にたいする外科的治療及び小さき肝臓や切除不能な肝臓に対するマイクロ波凝固療法、薬剤療法等

研究テーマ
肝臓癌に対するマイクロ波及びラジオ波凝固療法についての実験的研究

中村 明浩 先生

経歴
平成8年度昭和大学卒業
昭和大学第二内科勤務
横浜市北部病院内科勤務
せんば東京高輪病院勤務
山王台病院勤務

専門科目
消化器内科一般、特に消化器内視鏡が専門で大腸内視鏡においての技術は卓越している

研究テーマ
食道癌・胃癌・大腸癌にたいする遺伝子多型の実験的研究



上道 治 先生

経歴
平成10年度昭和大学卒業
昭和大学藤ヶ丘病院勤務
山王台病院勤務



専門科目
一般消化器、外科

研究テーマ
肝切除及び肝移植における肝虚血再灌流障害

Doctor's Career

病床規制は若い医師の意欲

い。病気を直すことが第一の目的ですから、素早い対応は前提ですよね」

幕内「医療というのは九五%が技術ですよ。患者様とのコミュニケーションは病気を直す目的のために必要なわけで、私は患者様から優しいと言われることもあるけど、本当は優しくありませんよ。目的を達成するために優しさも必要だとは思いますが」

変化と進化に合わせながら医療も試行錯誤

中村「技術という観点から言えば、画像診断装置の発達によって医療はすいぶんと進化してきましたよね」

幕内「かつてはエコーなんて全然見えなかったよね。画面も小さかったしね。その前は聴診器だからね」

中村「最終目的が診断だった時代があったけど、今は画像で診断した後、どのように治療するかという段階になってきていますね」

幕内「昔はカンフル剤なんてあったからね。カンフル剤一本注射して、なんて」

上道「高齢化社会になって白

を削ぐのでは？

精神的・技術的スキルを高めながら常に新しいチャレンジを。

03

内障の手術がクローズアップされてきて、眼科の領域も広がってきました。やはり時代とともに、さまざまな局面があるんだと思いますね」

幕内「かつては医療技術を自ら切り拓こうとブラックジャック的なチャレンジをしようとする医者がいたよね。今は、そんなこといろいろ取りだされたら大変だから恐くてできない時代ですよ。果敢な医者が育たない時代ですよ」

増田「高齢化社会になると医療費がかさみますが、こんな時代だから税金を納める人も少なくなっている。医者も自分の診療を診療報酬として現在の保険制度のきわめて制約された中で、なんとか良い医療を提供しなくてはいけないから、いろいろシレンマがありますね。今の保険医療は必ずしも最高の医療を提供できる資金力がないのも事実ですよ」

地域医療に求められる必要を力タチに

増田「これだけ医療機器が発達している中では、機器の進歩に合わせていかなければならない状況です。少なくとも内科・

外科に関しては常に新たな医療機器を駆使して最前線の診療と治療を追求していきたい」

上道「診断的なハード面は刻々と進化しています。患者様のためには、新しい機器の勉強はプロとして絶対必要ですが、これからも地域医療に関わっていききたいので、患者様と良い関係が築けるよう人間的な成長も果していききたいと考えているんです」

中村「誰もが自分が受けたいと思う医療が受けられるというのが大前提だと思っんです。保険制度などの複雑な問題が立ちはだかっていますが、臨床医として現場で患者様と関わりながら本心に大事なことを感じ取る感覚を大切にしていきたいですね」

幕内「私たちは患者様側に立った医療を追求していくことが本命。高度先進医療といっても、今、吐血している患者様を救えなくては意味がない。現状で一人でも多くの人々に自分たちの最善を尽くしていきたい。皆さんには精神的・技術的スキルを高めると同時に、常に新しいことにチャレンジしていただけるようサポートすることを約束します」

中央化された手術室は、 病院全体の 外科的治療が対象

外科

科的治療は、病気の多様化、手術手技、麻酔の進歩、医療機器の発達に伴い、手術も高度化し、適応範囲も拡大されてきています。

当院長は大学病院で研修を重ね、高い技術を習得し、平成十一年に地域の中央病院として、病気の多様化に即応できるように、先端医療機器を導入し当院を再スタートしました。

当手術室では、それらの機器を使用し、消化器外科全般の手術を中心に、整形外科・ペースメーカー移植・透析に必要な内シャント設置術等の手術が行われています。

常に患者様の立場にたち
一、手術創が小さいので、術後疼痛が少ない。

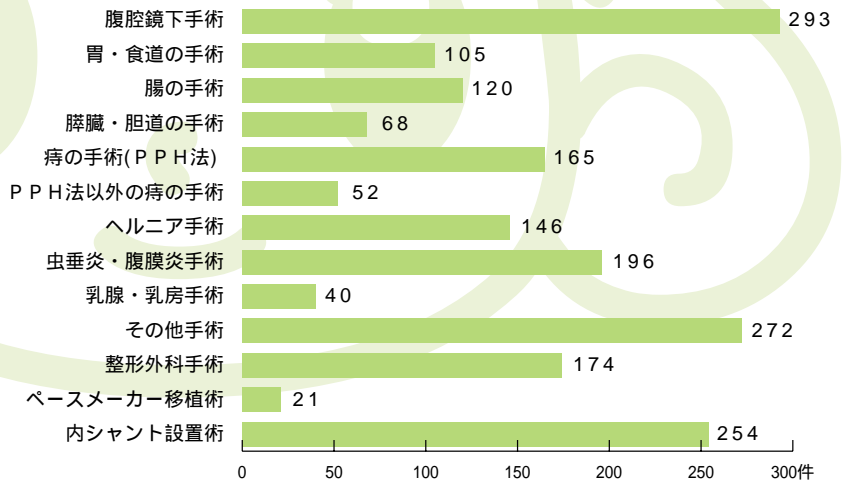
二、術後の回復が早く、社会復帰が早い
三、美容的に優れている

等の利点がある鏡視下手術も積極的に施行されています。(胆石症・逆流性食道疾患・食道アカラシア・気胸など)に対して、また、直腸粘膜脱・痔疾患の為に術式

医科だより 03 手術室 看護師 岩崎 和泉



平成11年から16年までの手術件数



としては、

一、痛みが少なく、早期退院・社会復帰が可能である。

二、傷が残らない。

三、術後・入院中のケアが楽である。
等の利点があるPPHという先端医療機器を使う手術法も施行されています。術前の訪問時に患者様からお話を聞く、痔に対しては「長い間我慢してしまっ」方もいらっしゃるようです。

当院では常に患者様の立場に立った治療が選択されています。我慢せずに、一度外来を受診し、気軽に相談されてみてはいかがでしょうか？

私達スタッフ一同も、手術室理念に基づき、質の高い看護を提供できるよう日々自己啓発に努めたいと思います。

【手術室五つの理念】

一、患者様の状態を把握し、周手術期を通して継続的な質の高い看護を提供できるよう努力する。

二、環境を整え、患者様の安全に責任を持つ。

三、適切な体位固定を行ない、安楽に努める。

四、無菌法を習得し、感染の防止に努める。

五、他部門とのチームワークを整え、手術が円滑に行われるよう努める。

高度先進医療 最前線

山王台病院
血液・生理機能検査室

PHYSIOLOGICAL LAB.



検査室主任
臨床検査技師
小林 真由美



山王台病院血液・生理機能検査室は、七名の臨床検査技師スタッフで、血液・尿などの検体検査や心電図・負荷心電図・呼吸機能検査・眼底検査・MRIなどの生理機能検査を行っております。当院は、乳がん検診指定医療機関であり、私たちが乳腺エコーを担当しております。血液検査は腎機能や肝機能などの検査も採血後最短三〇分、過去一〜二ヶ月前の平均的な血糖を反映するHbA1cは一〇分で報告しております。生理機能検査についても、病気の診断及び治療に迅速に対応できるよう二十四時間体制をとっており、夜間・休日はオンコールで検査を行っております。日々私たちは、患者様が安心して検査が受けられるよう患者様サイドに立ち続け、今後とも妥協せずがんばって行きたいと思えます。

迅速な対応こそが病気の 早期診断と治療への第一歩



乳腺疾患との 出会いとその後

山王台病院乳腺科 兼務
横浜旭中央総合病院乳腺外科部長 櫻井 修



私が卒業した大学も研修医として入局した医局も当院の幕内院長と同じであり、院長とは十数年間、苦楽を共にした時期もあります。入局当初の私の希望は消化器外科医でありましたが、指導医の先生を拝見しますと、「乳腺をしなから消化器もできるんだ。それなら乳腺も少しやってみようかな。」と考え、乳腺疾患に関わりを持つようになりました。その後、指導医の先生が大学病院を退職されることになり、私が乳腺疾患の診察を引き継ごうと考えました。これ

私が私と乳腺疾患との本格的な出会いでした。昭和六二年のことです。大きな転機は、平成五年に大学の関連病院に出張になった時で、その病院で常勤医となり、乳腺外科を立ち上げ現在に至っております。山王台病院は六年前の新病院開設にあたり、「21世紀に向けた新たな医療」をテーマに当初より乳腺科を独立した診療科として設置しております。今まで乳腺科を担当された先生方のご努力に感謝し、私の二十数年間で得られた知識・技術を当院の乳腺科のた

め傾倒し、更なる病院の発展に寄与したいと思えます。乳癌は日本人女性の二三人に一人がなる病気となり、一年間に約四万人が罹患し約一万人が亡くなっています。これを機会にあなたも乳癌検診を受診してみてはいかがでしょうか？

櫻井医師経歴 / 日本乳癌学会専門医、日本外科学会指導医、乳癌手術症例(六五〇例)
山王台病院件数

乳腺手術件数五二例、乳癌二六例
MMG乳腺X線撮影二四三例、平成一六年
US乳腺超音波五七〇例、平成一六年

INFORMATION

『たんぼぼの会』による折り紙教室を開催



1月27日(木)に『たんぼぼの会』の井坂日出代先生他3名の皆様による折り紙教室を開きました。

手は第2の脳と言われていて、指体操でリラックスしてから、お話をしながら2枚の折り紙で素敵な水仙が出来上がりました。最後にブーケのようにして持って帰って頂きました。

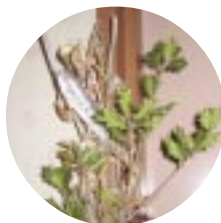
ボランティアの皆様、ありがとうございました。

あいあいの節分は院長も参加して『鬼は外!福は内!』



2月3日の節分では、利用者の方々とスタッフが、今年1年の厄除けに豆まきをしました。鬼に扮装したスタッフも今年は2名に増え、昨年よりも盛大に行なわれました。

皆さん思いっきり豆をぶつけられ、鬼役のスタッフも「鬼冥利につきます」と喜んでいました。



2月17日(木)藤和会「花むすび会」による踊りを披露



3月12日(土)居酒屋まくちゃん「仮装演芸大笑大盛況



当院の上道医師が第208回茨城外科学会で研究発表



2月19日(土)つくば国際会議場にて第208回茨城外科学会が行なわれ、当院の上道医師が研究発表を行ないました。

発表は『術前診断及び治療に難渋したconfluence stoneの1治験例』という内容で、県内から集まった多くの先生方と意見交換がなされました。上道医師は発表後に「当院は、H11年再スタート以来、茨城外科学会を中心に34件の研究発表をしてきましたが、今後も続けていきたい」と、前向きでした。

昭和大学の宮川哲夫助教授を招き院内講演会を開催



2月28日(月)に院内講演会を開催しました。今回は昭和大学保健医療学部助教授の宮川哲夫先生をお迎えし、『呼吸リハビリテーション』というテーマでご講演頂きました。宮川先生は世界的に大変有名な方で、呼吸に関するスペシャリストです。講演では呼吸に関することから飲み込みの問題についてまで、幅広くお話頂くことができ、参加者にとって非常に有意義な講演会となりました。

あいあいのひなまつりは雛人形も登場



4月は季節を味わっていただくお花見を楽しみましょう!



春はスタートの季節でもあります。医療法人幕内会も昭和大学名誉教授である高橋愛樹先生を山王台病院名誉院長として、そして老健あいあい施設長として迎え、職員も新たに13人増えました。活気に満ちた医療法人としてがんばっていきます。今回は凍み蒟蒻・山王台ドクター座談会・乳腺専門医・手術室・検査室など掲載しました。今後とも幕内会を知って頂けるよう情報提供に努めて参ります。(M.K.)



編 集 後 記